Oh! E_NEWS

大井ニュース

VOL.133

2015年5月20日発行 ●発行人／田中俊二 ●発行所／大井産業株式会社 〒813-0062 福岡市東区松島3丁目27番19号 Phone 092-626-5315



道の駅「原鶴」前の花畑

contents

- トピックス …… 02
- ペイント情報 …… 03
- ボディショップニュース …… 04
- 2015「大の市」レポート …… 09
  - ご挨拶
  - 車輌実演・鈑金実演・建築実演
- お客様訪問記 …… 12
  - 熊本市北区植木町
  - ボディーショップ坂本
- 今月の推奨品 …… 13
- 人生訓・経営訓 …… 14

第13回国際オートアフターマーケット

EXPO2015開催

第13回『国際オートアフターマーケットEXPO2015』が、3月11～13日の3日間、東京ビッグサイトで開催された。第6回「国際自動車通信技術展」と同時開催された今回、出展社数は前回を上回る180社・団体、来場者数は3日間で30,056人に上った。本展示会の目的は幅広い最新情報や業界動向を展示や実演、セミナーなどによって発信し、オートアフターマーケットの活性化を図ること。会場内には塗装ブースも設置され、水性塗料の実演などが行なわれた。先進安全技術の普及による自動車の電子化や、消費増税による新車販売台数の落ち込み、等級制度改定による保険修理件数の減少など、大きな変化を迎えている自動車業界において、今後の時流を探るべく、真剣な表情で各ブースやセミナーに足を運ぶ来場者の姿が多く見られた。

「2014年問題」収束でディーラーの総整備売上高が回復傾向

日整連、第38回「整備需要等の動向調査」を発表

日本自動車整備振興会連合会（日整連）は3月9日、第38回「整備需要等の動向調査」の集計結果を発表した。

同調査は、自動車整備事業場における整備需要などの動向について、直近6ヵ月間の業績及び今後6ヵ月間の業績予想を把握することを目的に、1996年7月から半年ごとに実施している。今回の調査は2015年1月時点のもので、全国の専業認証239、専業指定372、ディーラー指定322の計933工場から回答を得ている。

それによると2014年7～12月の総整備売上高DIはマイナス25.9で、前期(2014年1～6月、マイナス28.5）に比べて2.6ポイント上昇。業態別に見ると、専業認証で2.3ポイント、専業指定で3.7ポイント低下したが、ディーラー指定で13.6ポイント上昇している。

同期の総入庫台数DIはマイナス23.0で、前期（2014年1～6月、マイナス26.4）に比べて3.4ポイント上昇。業態別では、専業認証で0.9ポイント、専業指定で2.0ポイント、ディーラー指定で6.0ポイント上昇した。

これについて日整連は、「景気は緩やかな回復基調にあったものの、個人消費に弱さが見られたことを考慮すると、法定点検整備以外は軽微な修理や安価な点検整備が多かったのでは」と推測。専業工場の総整備売上高DIが減少したことについては、「円安による部品・原材料費のアップ分や、4月からの消費増税分を料金に反映した影響が現れたことも考えられる」とした。そして、総入庫台数DIが特にディーラー指定工場で大きく上昇した理由については、「前期の低下要因だった2014年問題が収束したため」と推測している。

2015年1～6月期の予想総整備売上高DIはマイナス20.2で、前期（2014年7～12月、マイナス27.5）に比べて7.3ポイント上昇した。業態別に見ると、専業認証で2.4ポイント、専業指定で8.4ポイント、ディーラー指定で9.0ポイント上昇している。

同期の予想総入庫台数DIはマイナス18.0で、前期（2014年7～12月、マイナス28.0）に比べて10.0ポイント上昇。業態別では、専業認証で7.7ポイント、専業指定で10.0ポイント、ディーラー指定で10.6ポイント上昇した。

このことから全業態とも、日本経済全体の雇用及び所得環境が改善傾向にある中で、個人消費が緩やかに回復するのに期待していることがうかがえる。特にディーラーは2014年問題が収束し、かつ2011年12月に再開されたエコカー補助金により新車販売が好調だった頃の車両が初回の車検を迎えるため、入庫台数の増加を見込んでいるものと考えられる。

だが、整備業界全体の現在の景況感DIはマイナス58.9で、前回調査時（2014年7月、マイナス58.4）より0.5ポイント低下。「やや悪い」、「かなり悪い」と回答した事業者の割合は66.1％に上っており、大半の事業者が現在の景気は悪いと感じている実態が浮き彫りになった。

	景況感	
専業認証	かなり良い(%)	0.0
	やや良い(%)	5.0
	やや悪い(%)	47.3
	悪い(%)	25.5
	DI	－67.8
専業指定	かなり良い(%)	0.5
	やや良い(%)	6.2
	やや悪い(%)	51.3
	悪い(%)	18.5
	DI	－63.1
ディーラー指定	かなり良い(%)	0.3
	やや良い(%)	9.0
	やや悪い(%)	43.5
	悪い(%)	13.4
	DI	－47.6
合計	かなり良い(%)	0.3
	やや良い(%)	6.9
	やや悪い(%)	47.6
	悪い(%)	18.5
	DI	－58.9

第38回「整備需要等の動向調査」集計結果

		直近半年間の実績		今後半年間の業績予想	
		総整備売上高	総入庫台数	総整備売上高	総入庫台数
事業認証	プラス成長(%)	13.8	11.7	13.0	13.0
	マイナス成長(%)	54.0	52.3	53.6	52.3
	DI	－40.2	－40.6	－40.6	－39.3
専業指定	プラス成長(%)	22.8	22.0	18.0	19.1
	マイナス成長(%)	49.7	48.4	42.2	42.7
	DI	－26.9	－26.4	－24.2	－23.6
ディーラー指定	プラス成長(%)	33.9	37.6	36.0	36.3
	マイナス成長(%)	47.8	43.8	36.3	32.0
	DI	－13.9	－6.2	－0.3	4.3
合計	プラス成長(%)	24.3	24.8	22.9	23.5
	マイナス成長(%)	50.2	47.8	43.1	41.5
	DI	－25.9	－23.0	－20.2	－18.0

注／DI＝プラス成長(景況感DIでは「かなり良い」＋「やや良い」)と回答した事業者の割合－マイナス成長(景況感DIでは「かなり悪い」＋「やや悪い」)と回答した事業者の割合

環境配慮型　新世代クリヤー

ECO ROCK® HYPERCLEAR

エコロック ハイパークリヤー





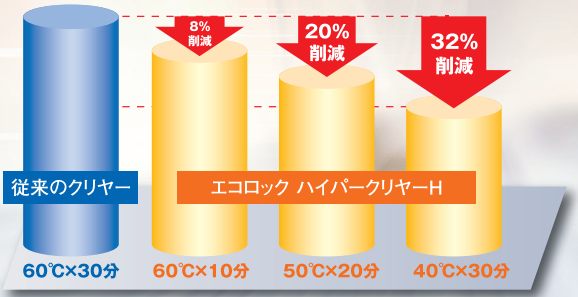
HYPERCLEARとは
仕上がり品質
上質艶肌
「艶残り」「肉持ちの満足感」をコンセプトに最速の乾燥性でありながら、超級(HYPER)な仕上がり品質の両立。

HとSの2種類の理由とは
使いごこち
ユーザーフレンドリー
選べる塗りと磨きのここち良さ。
H ハードタイプ 硬めのフィーリング
S ソフトタイプ 柔らかフィーリング

ECO ROCKとは
環境配慮型クリヤー
トータルリデュース
乾燥エネルギー・CO_2・VOC排出量を抑制し、PRTR届出対象外(TX他フリー)の原料で構成する環境負荷低減クリヤー。
(第2石油類タイプ)

乾燥エネルギー&CO_2排出量を削減

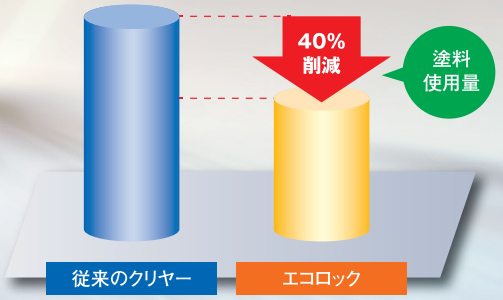
■強制乾燥時の低温化・短時間化で乾燥エネルギー量とCO_2排出量を削減



60℃×30分	60℃×10分	50℃×20分	40℃×30分
熱量:430MJ	熱量:405MJ	熱量:350MJ	熱量:300MJ
灯油量:11.9L相当	灯油量:10.9L相当	灯油量:9.5L相当	灯油量:8.1L相当
LPG:4.1m³相当	LPG:3.9m³相当	LPG:3.4m³相当	LPG:2.8m³相当
CO_2排出量:25kg	CO_2排出量:23kg	CO_2排出量:20kg	CO_2排出量:17kg

塗料使用量&VOC排出量を削減

ミディアムハイソリッド設計	塗装回数低減	VOC量
吹付け固形分10%以上UP	3回→2回	42%削減



※従来のクリヤー:マルチトップ クリヤーMR(150-3150)　※55dm²ドアパネル/クリヤー膜厚 50μm



環境にやさしいトルエン・キシレンフリーの万能プライマー

ピタキング602ECO

用途 ●自動車・建材等の各種金属・プラスチック素地への下地塗装。
●サンドペーパーによる足付けができない部分への下地塗装。

特長 ●トルエン・キシレンを含まない環境対応型です。
●表面のベタつきが取れるので、上塗り前にホコリが除去できる。(他社品比較)
●耐熱性に優れ、常温から高温焼付まで適応可能です。(160℃／30分)

Solar 株式会社 ソーラー

九州営業所　〒812-0007　福岡市博多区東比恵3-25-25　電話(092)411-1572
神戸(本社)／東京／名古屋　http://www.kobe-solar.co.jp

ボディショップニュース

アフターマーケットレポート

～保険、VOC、省エネ対策…今、旬な話題を～

ボディショップ業界で話題となっていたり、これから話題になるであろう情報をランダムに紹介。データがすべてではないが、やはり数字に裏付けされた情報には説得力がある。日々の仕事や今後の展望を考える上での参考にしていただければ、幸いである。

損害保険料率算出機構が「自動車保険の概況」2014年度版を発行

損害保険料率算出機構はこのほど、「自動車保険の概況」2014 年度版（2013 年度データ）を発行した。

2013 年度の任意自動車保険の収入保険料は 3 兆 3,582 億円で、前年に比べ 963 億円(3%)の増加。支払保険金は 1 兆 8,311 億円で 1,048 億円(5.4%)の減少となった。

補償種目別にみると、付保台数は搭乗者傷害保険以外で前年度から増加した。一方、支払件数は全種目で、支払保険金額は対人賠償以外で減少している。特に車両保険は、支払件数が 262 万 7,231 件で前年度比 64 万件の減少、支払金額が 6,816 億円で同 886 億円の減少とその幅が大きかった。これは 2012 年度以降に実施されたノンフリート等級別料率制度の改訂によって、保険契約者が修理時に保険を使用することを控えた影響だと考えられる。

1 台当たりの平均修理費は対物賠償保険で 22 万 2,588 円、車両保険で 24 万 215 円だった。前年度はそれぞれ 21 万 301 円と 21 万 7,569 円であり、ともに増加している。

特に車両保険では、1 割以上と大きく金額が上昇した。これも等級制度の改訂を受けて、保険契約者が軽度で安価な修理に対して保険を使用することを避け、結果として保険修理全体に占める高額な修理の比率が増えたためととらえることができる。

大塚刷毛製造が「東京マルテー祭」開催

大塚刷毛製造は 4 月 11 日・12 日の 2 日間、幕張メッセにおいて第 41 回となるマルテー刷毛・ローラー・塗装機器の総合展示会「東京マルテー祭」を開催。マルテー祭は「見て」「触れて」「お試しいただける」を掲げた塗装業界最大の総合展示会。今回は「マルテー史上最大の祭典！伝統を未来へ！」をメインテーマに、2013 年の「東北マルテー祭」、2014 年の「大阪マルテー祭」に続く、創業 100 周年記念イベントの第 3 弾として位置づけられたものであった。

今回はマルテー祭として最大規模となる塗装関連企業 250 社超が出展。展示スペースのほぼ 1 ／ 3 を占めるオートボデーコーナーには、ボデー修正装置や溶接機、塗装ブース、乾燥機、スキャンツールなどの各種機器・工具や、生産性向上に寄与する副資材をはじめとする鈑金塗装関連製品を扱う約 70 社が参加。急速に変化する自動車補修業界への様々な情報提供が行なわれた。

ビジネスショーであることから即売コーナーも設けられ、100 周年記念の謝恩特価・超目玉商品も販売。初日より予想を大幅に上回る来場者が訪れ、会場は常に熱気に溢れ、大盛況裏に終了した。



省エネ設備導入補助金申込み受付開始
自動車機械工具協会が性能証明書発行業務を担う

平成 26 年度補正予算に盛り込まれた「地域工場・中小企業等の省エネルギー設備導入補助金」（予算額／ 929.5 億円）の申し込み受付が 3 月 16 日から開始された。

今回の補助金の特徴は、対象が地方の中小企業への浸透とサービス業への適用が加わったこと、さらには書類申請に関わる手続きが簡素化されたことで中小企業においても比較的容易に取組める水準になった。これによって自動車整備事業社のみならず、鈑金塗装事業者においても利用可能な補助金といえよう。ただ、幅広い業種からの応募が予想される上、申し込み順の受付となる。予算枠を越えると打ち切られる性格上、早急な情報収集と申請書作成、そして窓口への提出が必須であろう。

補助金の内容は、最新モデルの省エネ機器導入支援（A 類型）と工場・オフィス・店舗の省エネ促進（B 類型）に分けられる。A 類型は、最新モデルに代替することで旧型比較において年平均 1％以上の省エネが図れること。B 類型は省電力、エネルギーマネジメントに役立つ既存設備の改修・更新を支援するもの。対象は事業を営んでいる法人や個人事業主で、補助率は内容によって 1 ／ 3 ～ 2 ／ 3 以内に分かれているが、概ね 1 ／ 3 以内の適用となる見込みだ。対象設備の入れ替えは 2015 年度末（2016 年 3 月末）まで許されることになっている。

補助対象カテゴリーに該当するであろう自動車整備用機器等には、燃焼設備では塗装乾燥ブース、熱利用設備では遠赤外線乾燥装置やスポット溶接機、省エネ型赤外線乾燥装置、電気使用設備としてはいずれもインバーター制御装置付きの油圧リフト、エアーコンプレッサー、門型洗車機などが挙げられる。

窓口となる執行団体の SII（環境共創イニシアチブ）の Web サイトには省エネ設備導入補助金についての詳細がまとめられており、交付規程、公募要領、交付申請の手引き、補助金対象カテゴリー表などが公開されている。

また、詳細については所属する整備振興会、車体整備協同組合などへ相談するのもよいだろう。

申請するには各種書類を揃える必要があるが、その中の一つである「性能証明書」の発行団体として日本自動車機械工具協会が指名された（A 類型に組み入れられる燃焼設備、熱利用設備、電気使用設備、空気調和設備、照明設備を担当）。

性能証明書発行手続きの主な流れは、事業者が対象機器等の製造メーカーへ機器等導入及び性能証明書発行を依頼。製造メーカーは機工協に性能証明書申請を行ない、機工協が性能証明書を発行。そして製造メーカーが事業者に性能証明書を転送する。性能証明書発行手数料は一件 15,000 円（機工協会員は 5,000 円）となっている。

なお、補助金の交付決定以前に着手（発注・契約を含む）した場合は補助対象外となるため、発注・契約は必ず交付決定日以降に行なう必要がある。

機工協では問合せ及び性能証明書発行手続きの担当部署を設けている。

■ SII（環境共創イニシアチブ）
https://sii.or.jp

■性能証明書　担当窓口
〒 160-0022
東京都新宿区新宿 7-23-5
日本自動車機械工具協会
校正企画部　企画課

TEL ／ 03-3203-5133
FAX ／ 03-3208-2157

担当窓口専用メール
kikaku@jasea.or.jp

U55J・55JDダブルアクションサンダー

低振動でバランスが良く抜群の研削力!!
オービットダイヤ10mmの(荒)粗研ぎ

作業用途
自動車板金の研磨作業や、
焼き付け塗装研磨、金属研磨、
FRP研磨など、幅広い研磨作業に。



型番	パットサイズ (mm)	無負荷回転数 (rpm)	オービットダイヤ (mm)	重量 (kg)	全高 (mm)	空気消費量 (ℓ/min)	使用圧力 (Mpa)	騒音 (db)
U-55J	φ123	9,000	10	1.0	91	350	0.4~0.6	83
U-55JD	φ123	9,000	10	1.07	91	350	0.4~0.6	83

発売元 埼玉精機株式会社
埼玉県熊谷市三ヶ尻2942
TEL：048－532－3804

日本塗料工業会が2013年度VOC排出実態推計を発表

日本塗料工業会は塗料に含まれる揮発性有機化合物（VOC）の大気への排出量などを記載した「塗料からのVOC排出実態推計のまとめ」（2013年度版）を発行した。同工業会では改正大気汚染防止法の施工前の2003年12月より「塗料・塗装によるVOCの排出抑制」に取り組んでおり、併せて塗料の出荷量からVOC排出量を推計し、その結果を毎年報告している。

溶剤系、溶剤系ハイソリッドタイプ、その他塗料、水系、粉体・無溶剤系など2013年度の国内塗料出荷実績（海外への輸出分を除く）は123.1万トンで、前年度（122万トン）比で0.9%増。自動車補修分野の国内販売出荷量は、2万2,574トン（前年度2万2,063トン）となっている。

塗料に含まれるVOC量に業種分野別の排出率（推定値）を掛けて算出した2013年度のVOC排出量は、28.2万トンで前年度より4千トン減少。基準年度である2000年度（53.5万トン）に比べて47.3%削減されている。

自動車分野のVOC排出推計量は1万7,905トンとなり、前年度（1万8,216トン）より1.7%減少している。

業種分野別の大気へのVOC排出推計量の推移を見ると、2003年度に比較してVOC排出量が大きく削減されたのは自動車・新車（マイナス4.1万トン）、建物（マイナス2.4万トン）、建築資材（マイナス1.5万トン）などであった。

販売出荷塗料における業種分野別の低VOC塗料比率の推移を見ると、2013年度の全体の低VOC塗料の比率は57.5%で、前年度（56%）から微増。尚、自補修分野では5.6%だった。

塗料出荷量1000トンあたりの塗料に含まれる溶剤と希釈シンナーの合計VOC量を見ると、2003年度のVOC含有量は332トン／千トン、前年度は266トン／千トン、2013年度は265トン／千トンで、少しずつではあるが確実に低VOC塗料への移行が進んでいることが確認できる。

ホンダ、「S660」のドアにホットスタンプ材を使用

ホンダ技研工業は、4月2日に発売した新型軽オープンスポーツ「S660」（エスロクロクマル）のドアに内臓されるドアアッパービームインナーに1,500MPa級のホットスタンプ材を、同アウターに1,180MPa級の超高張力鋼板を使用。これらを「ドアロードパス」として、同部位をフロントホイールハウスアッパーメンバーと一直線に結ぶことで、側面のみならず前面衝突時の衝撃吸収性能も高めるボデー構造を採用した。

同車のボデー開発を担当したホンダ技研研究所によれば、「ドアアッパービームのインナーとアウターは、それぞれドアアウターパネルとインナーパネルに溶接されている」。そのためドアアウターパネル上部を損傷した場合、「軽度であれば引き出し鈑金でのみ修理可能だが、損傷がドアアッパービームにまで及んだ場合はドアパネルAssyを交換する必要がある」。

その他フロントピラー、センターピラー、サイドシルインナー、フロアサイドハンバー、リヤバルクヘッドに980MPa級、センタートンネルやサイドシルアウターなどに580MPa級高張力鋼板を用いるなど、同車における高張力鋼板使用部位は全体の67%に達している。



HONDA S660



日本塗料工業会が2015年度塗料需要を予測

日本塗料工業会はこのほど、2015 年度の塗料需要予測を発表した。

これは公表されている政府、民間の経済見通し及び主要需要産業の 2015 年度の景気動向予測や、業況予測アンケートなどから予測したもの。それによると、2015 年度の塗料需要は 140 万 5 千トンと予測されており、2014 年の需要実績見込みである 138 万 3 千トンと比較してプラス 1.6%の値となった。

景気回復、塗料需要伸長を裏付ける決定的・楽観的な要素が少ないことを不安材料に挙げているものの、円安・原油安等の追い風要因や、構造物分野におけるオリンピック特需、インフラ関連公共工事や船舶関係の状況好転が加味され、総合的には微増するとみている。

産業別では、建物、構造物、船舶、路面標示などで前年度増を見込んでいる。中でも路面標示については前年需要が減少していたことと、公共事業への期待から、前年度比 7.1％増と比較的大きな需要拡大が予測されている。道路車両については、海外生産比率の工場による国内生産台数の減少が影響し、新車部門の塗料需要は前年度 98.2％となる 20 万 7 千トンに減少すると予測。補修部門では、保険等級制度改定の影響は 2014 年度で底打ちとみるものの、衝突回避車両の増加による事故件数の減少により、3 万 8 千トンと前年度比で微減とした。

2015 年度　塗料需要予測

需要産業区分		2014年度需要実績	2015年度予測数量	前年度比
		(千トン)	(千トン)	(%)
建物		387	398	102.9
建築資材		69	69	99.9
構造物		85	88	103.2
船舶		114	117	103.4
道路車両	新車	211	207	98.2
	補修	38	38	99.7
電気機械		44	44	101.1
機械		65	66	101.4
金属製品		91	92	101.1
木工製品		17	18	100.1
家庭用		32	32	100.8
輸出		78	79	101.3
路面表示		63	67	107.1
その他		89	90	100.4
合計		1,383	1,405	101.6

エコカー減税の基準切り替え、軽自動車税の引き上げを懸念

日本自動車販売協会連合会（自販連）は 2 月 23 日、日本自動車会館（東京都港区）で記者会見を開催。櫻井誠己会長は冒頭で「(昨年）4 月の消費税率 8%への引き上げにより、駆け込み需要の反動減に揺れたが、3 月までの駆け込み需要に支えられ、暦年の新車販売台数を上回る結果となった」と前年を振り返る。

今年のマーケットについては、「年明け 1 月は前年同月比 18.9%減と厳しいスタートとなり、現在もあまり回復基調を感じられない状況にある」ことに加え「4 月からのエコカー減税制度の基準切り替えは、全体的にかなりの車種が増税対象となる。軽自動車税の引き上げの影響も考えられることから、3 月末の駆け込み重要とその後の反動が懸念される」と厳しい見解を示す。

加えて「ここ数年はリーマンショックや、東日本大震災などの大きさな災害が起こり、エコカー補助金、消費増税などの特殊要因も重なったことから、日本の自動車市場の実力が非常にわかりにくくなっている。本年は本当の市場が見えてくるのではないか」と話し、2017 年 4 月に控える消費税率 10％への引き上げに向けては「自動車取得税の廃止は当然のこと、その付け替えとなる環境性能課税の導入についても断固反対していく所存」との考えを述べた。

また、業界全体の人材不足に関して、「昨年度より事業計画の重点項目に挙げているが、採用・定着・育成・多様な人材の有効活用という観点から、現状分析、好事例紹介を通じて情報の共有化を図るとともに、積極的に各方面と協力し、自動車業界のイメージアップに取組んでいく」とした。



VOC削減に貢献!

コストダウンと作業時間削減が同時に可能!!



一液ベースコート塗料

PRO TOUCH
プロタッチ

① ムラ取り不要

ムラが出にくく、ムラ取りなしでも仕上げが可能。

② ボカシやすい

ミストのなじみが良く、ブレンダーなしでボカシ塗装が可能。

塗装回数が少なくてすみ隠ぺい性も良いので

- 作業時間 **30~50%減!**
- 塗料使用量 **20~30%減!**
- VOC量 **20~30%減!**

更に、車両用エコシンナーを用いてハイソリッド仕様にすることにより

- VOC量 **50%削減可能!**

※いずれも当社比

ロックペイント株式会社

東京営業部／〒136-0076/東京都江東区南砂2丁目37番2号
TEL(03)3640-6000　FAX(03)3640-9000
大阪営業部／〒555-0033/大阪府大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号
TEL(06)6473-1055　FAX(06)6473-1000
福岡営業所／〒811-0119/福岡県糟屋郡新宮町緑ケ浜3丁目2番1号
TEL(092)962-0661　FAX(092)963-1241
岡山営業所／〒701-1134/岡山県岡山市北区三和1000番地34
TEL(086)294-1201　FAX(086)294-6966
営　業　所／札幌・仙台・西関東・名古屋
ロックペイントのインターネットホームページ　http://www.rockpaint.co.jp

2015.4.11～4.12　於:福岡国際センター

第37回大の市

ご来場、誠にありがとうございました。

皆様からの多大なご協力をいただき、第37回目となる「2015年 大の市」も盛況の内に閉幕することができました。大井産業グループを代表致しまして心より御礼申し上げます。

2日間で約3,600名もの方々にご来場頂き深く感謝しております。

会期中、場内を見渡しますと、多くの皆様方が和やかに談笑なさる姿、熱心に展示品やデモンストレーションに見入っていらっしゃるご様子が目に映り、強く感じ入る2日間となりました。また、各メーカー様にもご尽力頂き、バラエティ豊かで内容の濃いデモンストレーションやプレゼンテーションが実施され、例年以上に質の高い情報のご提供ができたのではないかと思っております。

「大の市」はユーザー様、各メーカー様、そして弊社という3つの存在があって初めて成り立つものですが、私にはこの三者が大きなトライアングル、もしくは三本の矢のように見受けられました。弊社は一貫して「共存共栄」というモットーを掲げております。会場内で感じた大きな力を集約させ、皆様方と培ってきた強い絆をより一層強固なものにするために社業に精進して参ります。

今後ともご尽力ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

大井産業株式会社代表取締役　田中俊二







2015 大の市レポート

たくさんのご来場ありがとうございました。

約3,600名の来場者を迎えた2日間

晴天に恵まれた今年の『大の市』。4 月11 日（土）10:00のテープカット直後にお越しいただいた方をはじめ、九州各地から約3,600 名の来場者を迎えることができ、盛況な2 日間となりました。出展企業も約100 社と、“自動車・建築関連九州最大の総合機材展”の名に恥じない規模のイベントを開催できたことのお礼を申し上げます。



お客様にご満足いただいた最新情報

各ブースでは、各社の最新商品を展示・販売。さらに場内に特設された3 つのスペースでは、塗装実演、鈑金実演、各種セミナーが行なわれました。全体的な特徴としては、どの出展企業も『顧客のより高い要求に対応するための商品・技術』『水性塗料など環境に配慮した商品・技術』『作業効率を改善する商品・技術』『超高張力鋼板や新素材、ハイブリッドシステムなど、進化を続ける車に対応する新しい商品・技術』を念頭に置いた提案を行なっていました。それに対して来場者の方々は、ただ見て回るだけではなく、メモを取られる方、実際に商品を手に取って体験をしてみる方、突っ込んだ質問をされる方などが多く、和やかな中にも真剣なやりとりが行なわれていたようです。多くの企業が推奨する最新の商品・技術を肌で感じることができ、お客様も大変満足されているご様子でした。



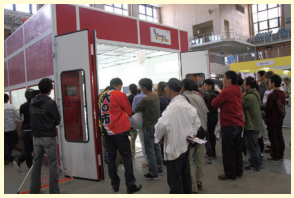






塗装実演コーナー

特設塗装ブースでは5 社が塗装の実演を行ないました。環境問題を考慮した水性塗料、作業効率化のための新技術などが披露され、ブースは多くの方の注目を浴びていました。
①ロックペイント株式会社
②日本ペイント株式会社
③アクゾノーベル株式会社
④アクサルタコーティングシステムズ合同会社
⑤BASF ジャパン株式会社







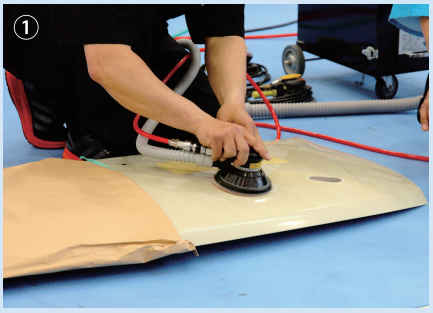


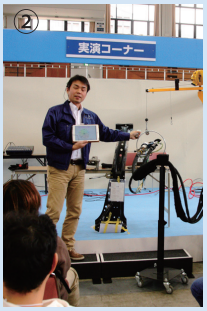




鈑金実演コーナー

鈑金実演コーナーでは、5 社のデモンストレーションが行なわれました。
①コンパクトツール株式会社
②株式会社スピーディ
③株式会社ソーラー
④株式会社イチネン前田
⑤株式会社イー・エヌ・ドゥコーポレーション
超高張力鋼板などの新素材に対するスポット溶接や、海外では一般的になってきたリベットシステムなどの新技術の実演、エコドライブサンダーなど環境や作業効率改善への取組みや提案に対して多くの人が耳を傾けました。
また、同コーナーでは、
⑥株式会社染めQ テクノロジィ
による油面塗料の実演も行なわれました。













セミナー会場

セミナー会場では2 社が業界の最新事情について講演。長時間に渡り熱心に耳を傾ける方の姿が印象的でした。
①株式会社プロトリオス
『最新車体の構造と修理』
『自動車保険改訂の影響と対策』
②株式会社スピーディ
『入庫のポイントと効率改善の提案』





【熊本市北区植木町】ボディーショップ 坂本

代表　坂本 剛 氏



常に最先端の情報と技術を

植木 IC から車で 10 分ほどの国道 208 号線沿いに位置する『ボディーショップ坂本』は、自動車鈑金塗装・ボティーコーティングの専門店。メルセデスベンツのディーラからの受注が大半を占めるとのことで、技術の高さと丁寧な仕事ぶりは折り紙つきだ。「ベンツは時代の先端を行く素晴らしい車です。常に最新の情報に接していますし、ベンツを通して学ぶことや得られる技術は多いですね。そして、それは必ず国産車にも応用できるものなのです」。そう語ってくれる代表・坂本剛さんがご自身にもスタッフにも課しているのは“絶対にクレームがこない仕事”。工場に車が届いた時から納車まで坂本さんは常に厳しいチェックを行なう。「一番の基本は一つの仕事が終わる度に整理整頓すること。仕事場が汚れている人間はいい仕事はできませんね」。

時代に合わせた仕事を目指す

2010 年に創業し、昨年 6 月に現在地に移転。その際に最新の塗装ブースを設置した。「空気の循環が制御されていて仕上がりがいいですし効率もあがります。また、作業する人間の身体にもいいものなんです」。その他、VOC が低く環境にやさしい塗料の使用、インターネットとつながる測色機の利用など、坂本さんは新しい技術への取組みに積極的だ。「車はどんどん進化していますし、塗装の方法も進化しています。お客様が求めているものも変わっていきます。昔ながらのやり方に固執するのではなく、時代に対応していかなければなりません。お客様あっての商売なのですから」。



最新の塗装ブースは作業環境が整っており、作業の効率化に役立つ







車への愛から生まれる美しい仕事

「趣味はチューンナップした車でサーキットを走ることです(笑)」という坂本さん。車に対する愛情の深さは、仕上がりにも現れているに違いない。「今後、さらなる技術の進化はもちろんですし、車を走らせる楽しさを伝えるようなことをやってみたいと思っています !!」。



企業 DATA

所 在 地／熊本市北区植木町鞍掛 101
従 業 員／5 名
代 表 者／坂本剛 氏
使用塗料／スタンドックス・アクロベース



3M™ クリーンサンディングシステム

作業性の向上と効率化を実現する新製品発売!!

従来品より幅を5mm広くしたクリーンサンディング　シートロールは、縦と横の2方向にカット用のミシン目が入っており、サイズ調整がとても容易に!!　また、新開発のサンディングファイルとハンドパッドを活用することにより、作業精度の向上と効率化の両立が可能に!!





システムの特長

01／吸じんシステムにより研磨時の「からみ」が減少し切れが向上するため、作業効率が向上
02／新開発のファイルとハンドパッドにより、作業精度の向上と効率化を両立
03／様々なサイズへカットできるため、ユーザー様において研磨剤の在庫種類を削減することが可能

スリーエム ジャパン株式会社
オート・アフターマーケット製品事業部
http://www.mmm.co.jp/aad/
カスタマーコールセンター
製品についてのお問い合わせはナビダイヤルで
0570-011-211
ナビダイヤル 市内通話料金でご利用いただけます。

3M

KOVAX

トレカットシリーズに P2500 相当のブルーが新登場！

Tolecut トレカット ブルー

◆ゴミ除去の時間短縮！労力軽減に！



トレカット ブラック (K-3000) 3000 番相当
トレカット ブルー (K-2500) P2500 相当
トレカット グリーン (K-2000) P2000 相当
トレカット ピンク (K-1500) P1500 相当
トレカット オレンジ (K-1300) P1200~1500 相当
トレカット イエロー (K-800) P800 相当

株式会社コバックス　福岡営業所 〒812-0041 福岡市博多区吉塚3-29-1
URL http://www.kovax.com TEL (092)-612-2801(代) FAX (092)-612-2852

本 社 〒173-8585 東京都板橋区板橋4-43-2
TEL (03)-3961-4731(代) FAX (03)-3961-4721

PROTO RIOS

2012 年1月　プロトグループの2社が合併し新たな会社が誕生！！

プロトグループ 株式会社リペアテック ＋ SYSTEM-ONE 株式会社システムワン

株式会社プロトリオス 誕生！

株式会社プロトリオス（PROTO RIOS）は、2 社が培ってきたソフト・ハード両面の知識と技術を結集し、リペアテック（頭文字“R”）、システムワン（頭文字“S”）が、革新的（イノベーション“I”）で、独創的（オリジナリティ“O”）なサービスを提供していく、という意味をこめて“RIOS”と命名されました。

プロトリオスの 統合システム”ラクロス“　お客様に最適な運用のご提案とアフターフォローを行います

RacroS ラクロス

●整備から板金までのオールインワン統合システム“ラクロス”

整備 ＋ 板金

工場様の新規顧客獲得、
既存顧客の囲い込みをしっかりサポート。
徹底的なアフターフォローで
工場様との信頼関係を築きます。



ラクロスは車検、一般整備、軽鈑金、事故車修理、協定、車販まで。
見積、管理、提案 ほしい機能が勢ぞろい！
◎整備データ：年 2回提供
◎板金データ：年12回提供

PROTO RIOS 株式会社プロトリオス 福岡支社　福岡県福岡市博多区博多駅南 4-2-10 南近代ビル 8F TEL 092-433-8851 FAX 092-433-8853

重大事故を起こさないために

小さなミスを見逃さずに対処することが必要不可欠

今年も、広島空港で起こったアシアナ航空機の事故をはじめ、人に原因がある事故が多発している。
どのような高度なシステムであっても、最終的な判断を人がくだすならば、ミスや間違いは起こりうるもの。
どうすれば、ミスや間違いに気づくことができ、未然に事故を防ぐことができるのだろうか。

1:29:300 の法則

まず、労働災害を語る時によく引用される『ハインリッヒの法則』についておさらいしておこう。アメリカの損害保険会社に勤めていたハインリッヒが、ある工場で起きた数千件もの労働災害を統計学的に調査して導きだし、1929 年に発表した法則で、『1:29:300 の法則』とも呼ばれている。

その意味は、「1 つの重大事故の背景には、29 の軽微な事故があり、さらにその背景には“ヒヤリ・ハット”する事故とは呼べない 300 の事象が起きている」というもの。これは、重大な事故は軽微な事故を防ぐことができれば発生しないし、軽微な事故は“ヒヤリ・ハット”する出来事を防ぐことができれば発生しないというということでもある。つまり、小さなミスやそこから生じる“ヒヤリ・ハット”したことを把握して対処することが、大きな事故を起こさないために最も重要なことなのだ。

ミスはなぜ起きるのか？

ミスには、機械やなんらかの異常が生じた時に起こるものや、悪い偶然が重なって起こるものなど外的要因によるものもあるが、ほとんどの場合は人的なもの。人的ミスの原因としては、以下のようなことがあげられる。

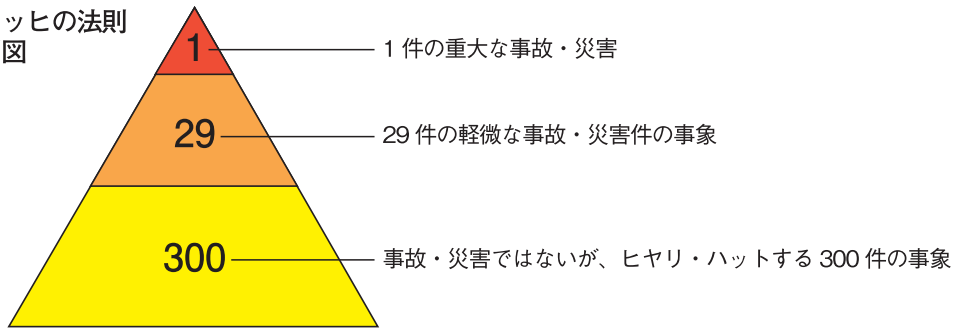
●やるべきことを忘れたり、余計なことをやってしまったミス
●確認不足や惰性で起きる単純な確認ミス
●自分の能力以上のことをやろうとしてしまった時
●知識が不足していた時
●注意力が散漫になった時

これらを防ぐために、個々の意識を高めることである程度防げるものもあるが、それだけでは限度がある。どんなに気をつけていても、忘れるのはしかたのないことであり、人間はミスをする生き物なのである。「次からは気をつけます」ではあまり意味がないのだ。

小さなミスが原因起きる“ヒヤリ・ハット”を経験したことがない人はいないだろう。また、同じような“ヒヤリ・ハット”を何度か繰り返した人も少なくはないだろう。







ヒヤリ・ハットを防ぐには

では、小さなミスを防ぎ、“ヒヤリ・ハット”が起こらないようにすめためにはどんなことに注意しなければならないのだろうか？ どんな方法があるのだろうか？ 一般的な考えとしての、いくつかのキーワードを列記する。

●手順書・チェックシートの重要性
●指差し＆声出し確認の重要性
●間違いやすい文字や記号への配慮
●多くの人の目を通すこと
●ミスをした人にペナルティを与えることはしないが、約束を破った人にはペナルティを
●わからないと思った時に質問をする～聞き間違えのないように確認を。曖昧な部分があるまま仕事をしない
●速度より精度
●例外を作ってはいけない
●勝手に仕事の省略をしない
●疲れる前に休憩をとる
●整理整頓
●「後でやろう」ではなくすぐにやる
●単純な構造・手順・方法を徹底する
●必ずメモをとること
●見直すことを習慣化する
●進捗状況の報告を怠らない

参考にしていただける部分はあっただろうか？ 業態や個々の仕事内容によってより具体的なものをイメージして実践していただければ幸いである。

大切なコミュニケーション

“ヒヤリ・ハット”は結果として事故には至らないため、まわりが知ることもなく、起こした本人の中で自己完結してしまい、そのまま忘れ去られてしまうことも多い。しかし、もっとも大切なことは『職場内で同じミスを二度と繰り返さないこと』。そのためには、情報の共有化が不可欠となる。ミスが生じたことをきちんと報告できる環境づくりも必要だろう。そしてミスの原因を追求して解明し、具体的な解決策を講じなければならないのだ。

最後にミスに関して王貞治氏が述べた言葉を記す。

「よく、『人間だからミスはするもんだよ』と言う人がいますが、初めからそう思ってやる人は、必ずミスをするんです。基本的にプロというのはミスをしてはいけないんですよ。百回やっても千回やっても絶対に俺はちゃんとできる、という強い気持ちを持って臨んで初めてプロと言えるんです」。

ミスは“やっていい”ものではなく、個人として起こさないようにする高いプロ意識を持つことが大前提であり、やむをえず生じてしまった場合にはそれをフォローし再発を防止する仕組みが必要なのだ。


●' kiwami シリーズ

●美粧シリーズ

● Super nova シリーズ

究極の技に応える「究極の道具」'kiwami シリーズ。塗りムラの出にくい自動車補修専用スプレーガン美粧シリーズ。
イタリア Pininfarina 社デザインによる「究極の機能美」と当社霧化技術による「究極の性能」とを両立させた自動車補修塗装専用スプレーガンのフラグシップモデルの Super nova シリーズ。

それぞれの塗料・用途に対応した自動車補修専用スプレーガンで、国内のみならず、世界のペインターの方々にご満足いただける性能・作業性・環境性能を提供いたします。

ANEST IWATA アネスト岩田株式会社
URL http://www.anest-iwata.co.jp/

ANEST IWATA アネスト岩田コーティングソリューションズ株式会社
■ 東日本塗装機販売グループ
TEL 03-5483-5355 FAX 03-5483-5350
■ 西日本塗装機販売グループ
TEL 06-6453-2120 FAX 06-6458-5978

3M™ フッキット™ パープル クリーンサンディング シートロール
3M™ クリーンサンディング ファイル 5218





作業精度の向上と効率化の両立を実現！

■吸じんで、からみを減らし切れが向上するため、作業効率が向上します。

■好きな長さに手で切れるカットラインが入っているので、
ペーパーの種類を減らして在庫を大幅に削減します。

■ファイルのホース取り付け部が可動式で研磨作業時に邪魔になりにくく、
低クッション性の底面設計により正確な面出しがしやすくなります。

製品一覧

発注品番	製品名	サイズ	粒度	最低発注数量
H/CSRL 60 75 PUR	3M™ フッキット™ パープル クリーンサンディング シートロール	75mm×10m	P60	2ロール
H/CSRL 80 75 PUR			P80	2ロール
H/CSRL 120 75 PUR			P120	2ロール
H/CSRL 180 75 PUR			P180	2ロール
H/CSRL 240 75 PUR			P240	2ロール
H/CSRL 320 75 PUR			P320	2ロール
H/CSRL 400 75 PUR			P400	2ロール
H/CSRL 600 75 PUR			P600	2ロール
5218 AAD	3M™ クリーンサンディング ファイル	72×175×50mm	—	2個

3M製品のハンドブックがアプリになりました！
App Store / Google Playから、
3M ハンドブック 検索

3M、フッキットは3M社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社
オート・アフターマーケット製品事業部
http://www.mmm.co.jp/aad/

カスタマーコールセンター
製品についてのお問い合わせはナビダイヤルで
0570-011-211
ナビダイヤル® 市内通話料金でご利用いただけます。
受付時間／8:45 ～17:15 月～金(土・日・祝・年末年始は除く)